

秋は行ってしまったのでしょうか、冷たい風が頬に触ります。

11月初めの菜園を紹介いたします。



菜園から西の方角です。富士も箱根も雲の中、畑はラクダ色をしています。



しょうが、オクラの収穫後です。
籾殻や細かくされた稲わらをすき込みました。鍬で畝に似た小山を作っています。
ジャガイモ用の予定です。籾殻は腐りにくいですが、土をサラサラにし、稲わらは溶け込み、肥料になります。



平塚市のコメ作り体験に参加し、刈り取りの終わった畑から籾殻、ワラをもらいました。今年は畑に籾殻をふんだんにまきました

サツマイモの後を耕し手います。



菜園から南の方向です。
湘南平が見えます。

白菜、ブロッコリー、キャベツの苗床が左側、畑に定植した残りですが、だいぶ育ち、白菜は汁の具になっています。

右側のダイコンは太くなり、市価百円くらいになるかな？ 食卓に重宝しています。



今年は**ソラマメ**に挑戦です。だいぶ成長しました。

原産は北部アフリカ、南西アジアで有史以前にヨーロッパに、日本へは17世紀頃伝わったそうです。

花は大きく、実は空に向かって直立するとのこと。

実は食用と餡、味噌、醤油の原料に、葉は家畜の飼料となるようです。



続報をお楽しみに・・・

ニンジンです。

前回の発芽が少なく、左側のようにまちまちに育っています。

追っかけ、播き直した分が伸びてきました。

今後の成長を楽しみにしています。

エンドウ豆です。

籾殻をたっぷりまき、寒さ対策です。冬のさなかには霜が降りるし、霜柱も立ちます。厳冬期には籾殻では不足でしょう。株を覆うような別の方法をこじります。

美味しい味を連想しつつ手当を施します。



ネギの脇にジャガイモです。自然発生しました。以前は、カボチャが植えもしないのに発芽し、5、6個も実になり、今も食べ続けています。

ネギのこの場所は、昨年ジャガイモ畑でした。取り残しからの発芽のようです。

ジャガイモは連作を嫌いますが、ことによると取り残しも影響するのかもしれませんが。



レタスと春菊（両側）です。

レタスの中央が巻き始めています。キャベツ、も同じように中央が巻き込み、球形になります。生育がよさそうです。

春菊は必要な分だけをつまみ取り食べます。新鮮な香りに満ちています。取り去った後から再び芽が出てきます。

農作物の再生産、農業用地の再生産は工業には無い有効性を知ることができます。農作物は食を満たし、農地は高い土地生産性を持ち合わせています。



ニンニクです。

青森産の種を植えています。

ニンニクの一片から一本、発芽します。育つと6片のニンニクになります。単純に、6倍になる計算です。

菜園マニュアル本には多くの肥料が必要と書かれています。

店で買うような型ぞろいではありませんが、乾燥前の取れたてを、丸ごとゆでたり、油で揚げたり、生産者ならではの味わいができます。

食べられるくらいになるにはまだまだ期間を要します。

種類が違うのかと思えるくらい。並び具合、伸び具合が整然としています。

畑仲間のニンニクです。





巻初めのキャベツです。

畑仲間が育てています。気持ちがいいくらい良く育っています。

中央に新しい葉が育ち、巻き込んでゆきます。断面を見るとりょう然です。

冬の冷たい外気を受けて、しっかりとしたキャベツになります。

↓ 我家のキャベツ



まだまだです。害虫を避けようとネットで覆いました。

モンシロチョウの季節には、卵や青虫がたくさんつきます。

葉は食べられ、レースのように穴だらけになってしまうこともあります。

今の時期は、ネット不要だったかな。

畑仲間のネギ、白菜、
春菊です。
のびやかで頼もし
く見えます。



白菜の巻き初め

私の白菜、仲間に追
いつけるかな。
じっくり育てば良い
と、楽しみにしていま
す。





手振れ写真ではありません。強い風に菊花が揺れています。



ブロッコリーと
間のレタス。

ブロッコリーを支柱で支えています。大きな葉が強い風を受け、根が抜けんばかりになってしまいます。

この菜園の冬は北風が優勢です。支柱を斜めに突き刺し、風に負けないように、固定します。

大きく頑丈になれば支えは不要ですが、小さいうちは風をまともに受け、根がやられてしまいます。

